



5月にリニューアルオープン

防災教育センターに いらしてみよう!

地震をはじめとする災害に対し、市民の皆さんの意識を高め、知識や対応力の向上を図るため、北消防署に併設する「防災教育センター」を大きくリニューアルしました。VRなどの最新技術を活用したリアルな災害体験を通じて、より効果的な防災教育を展開しています。

今号では、新しくなった「防災教育センター」についてご紹介します。

災害の疑似体験で 体験型防災教育 対処法を学ぼう!



四日市市マッピングシアター、災害連鎖シアター、煙体験などのコンテンツを駆使して、訪れた市民の皆さんが災害をリアルに感じることができる体験型の防災教育を各ゾーンで提供します。

A ZONE 四日市市防災情報ゾーン

- ①四日市市マッピングシアター / 四日市市の災害の歴史

B ZONE 災害体験ゾーン

- ②災害連鎖シアター ③煙体験
- ④地震 VR・防災シアター



地震体験車は四日市消防管内に派遣することができます。

C ZONE 地震体験ゾーン

- ⑤地震体験

D ZONE 備えゾーン

- ⑥備えゾーン ⑦災害後の世界

Interview

防災の気づきを行動へつなぐために



防災において、最も危惧すべきは「災害は私のところにはこない」と思い込んでしまうことです。「天災は忘れたころにやってくる」という警句を思い出し、災害に関する正しい知識を持ち、正しい方法で常に備えることが災害に対する最も有効な手段です。

防災教育センターでは災害を疑似体験し、新しいデータに基づいた災害情報を知り、何に対してどう備えるべきかを学ぶことができます。

新たに VR (仮想現実) などの技術を取り入れていますので、ぜひ来館して、災害や防災について、新しい発見をしてください。

防災教育センター所長 浜田昭

どんな被害が発生するか、
わかるようになっていたよ。

A ZONE 四日市市防災情報ゾーン

本市の地域ごとの
災害特性を学習できるゾーンです。

① 四日市市マッピングシアター

地震が発生した場合の揺れの大きさ、津波の浸水深、洪水浸水想定区域図などの被害想定を、床に描いた本市の地図上に投影することにより、地震が起きた時にどの辺りの揺れがひどいか、津波の浸水はどのあたりまでくるのかなどを、わかりやすく説明します。



災害を
疑似体験して、
もしもの時に
備えよう!!

本市の公式インフルエンサーである2人にも、
災害を疑似体験していただきました。

大人だけではなく、子どもにもわかりやすい展示や体験があるのが、リニューアルした「体験型」防災教育センターの魅力ですね。

普段あまり防災について意識していませんでしたが、改めて、災害に対する準備の必要性を感じました。

災害の備えをしている人もしていない人も、このセンターを通して、よりリアルな災害を知ることができると思います!ぜひ訪れて体験してみてください!

神田亜弥乃さん(左)、谷口志野さん(右)

B ZONE 災害体験ゾーン

さまざまな災害を疑似体験することにより、
災害に対する危機感を視覚や聴覚などで感じ、
非常時の行動を考えるゾーンです。

② 災害連鎖シアター

巨大地震をきっかけに次々と連鎖する災害の恐ろしさを、シアターで紹介しします。自宅にいる時に地震に襲われたら、火災が起こったら、津波が押し寄せてきたらどうなるかを、シアターのグラフィック映像を通じて考えてみてください。



臨場感のある演出で
災害の恐ろしさを
実感しました。

③ 煙体験

煙で周りは
ほとんど見えない!



人体に無害なスモークを発生させ、煙が充満する部屋からの避難を体験できるコーナーです。火災で命を落とす二大原因は「一酸化炭素中毒」と「やけど」です。煙は天井からたまっていくので、避難するときは、煙を吸い込まないようにハンカチやタオルなどで口と鼻をおおい、低い姿勢で煙の下を逃げましょう。

40秒で脱出できた人もいれば、
99秒かかった人もいました。
何秒で脱出できるか、
チャレンジしてみてくださいね。

④ 地震VR・防災シアター

VRゴーグルを
かけて!



コントローラーで
映像をスタート!



VRゴーグルを使用した地震体験などができます。教室や家のリビング、30階の高層階オフィス想定した、阪神・淡路大震災などのシミュレーションがあります。また、日頃からできる地震対策や、揺れたらすぐに身を守るための行動をVRで説明します。

実際に起きた
地震が、リアルに
体験できます。



実際に起きた
地震が、リアルに
体験できます。

C ZONE 地震体験ゾーン

地震の揺れを実際に体験することにより、地震発生時の心構えと日頃の備えを学習するゾーンです。



市町での保有は
県内初!

5 地震体験

今回のリニューアルに併せて、地震体験車を1台導入しました。地震体験車は、学校・自治会・団体などに派遣します。

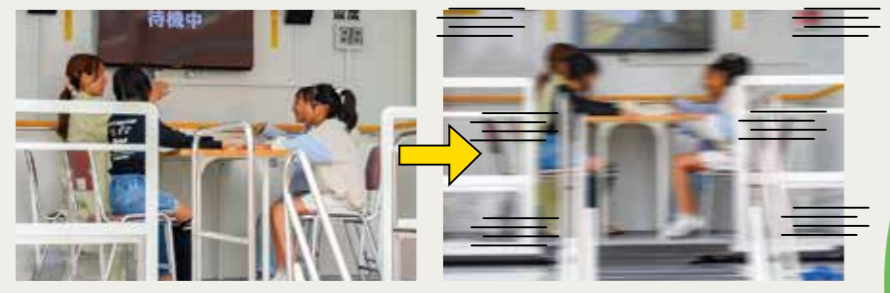
市内のどこにでも派遣します。学校や自治会でぜひ活用してみてくださいね!



地震体験車の特徴

- 1 震度2～7までの地震体験が可能
- 2 大規模地震（東北地方太平洋沖地震など）の再現体験が可能
- 3 VR映像によるリアルな地震体験が可能
- 4 VR映像と連動した訓練用消火器を積載
- 5 外国語での音声案内
- 6 災害時は電力を外部に供給可能

地震体験車を実際に体験!



体験と分かっているから楽しいと思えたけど、実際にこれだけ揺れたら不安だし、一人でいたら本当に怖いと思いました。

D ZONE 備えゾーン

未来の災害に備えるためのヒントとなる展示や資料を配置しています。防災研修やセミナーを開催するなど防災の学習スペースとしても利用できる多目的ゾーンです。

6 備えゾーン

災害が発生すると、日常生活を送ることができなくなるため、食料や水、防災用品などを備蓄しておく必要があります。例えば、3日分の食料はどれくらいの量なのか、物資の展示を見ることで、備えるときの参考になります。また、防災に関する書籍を集めた学習スペースも設けています。



自分や家族に必要なセットを考えてみよう。



防災に関するゲームもあるので、友だちや家族と楽しみながら、防災について学んでいこう!

一式セットになっている防災リュックもあるよ。

7 災害後の世界

災害が起きた後、どのような状況になるかを想像してもらうコーナーです。在宅避難の様子と、避難所への避難についてイラストで紹介。実際の被災者の率直な思いや意見を集め、さまざまな状況の解説に反映しています。



中を開くと、災害が起きたらどう対応すればよいか、わかるようになっていっているね。



災害を疑似体験することで、「もしも」の時、自分がどう行動すべきか判断しやすくなります。ご家族や友だち同士でセンターにお越しいただき、みんなで防災・減災力を高めていきましょう。

イベント情報

四日市サイバルクエスト
～防災教育センターの冒険～

対 市内か川越町、朝日町に在住の小・中学生（保護者同伴）

時 8月10日（土）9:00～12:00

所 防災教育センター

内 センター、はしご車、地震体験車などを活用し、防災に関する知識を身に付けましょう

定 60人（応募多数の場合は、抽選）

他 申し込みなど詳しくは、二次元コードから



防災教育センター

時 9:00～16:30
（月、第3木曜日、12月29日～1月3日を除く）

所 富田二丁目4-15
（北消防署併設）

料 無料

申 防災展示室の見学、および地震体験号（管内派遣含む）は、二次元コードから

他 駐車場には限りがありますので、公共交通機関での来場をお勧めします



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 防災教育センター ☎365-3119 FAX364-6095